

【複合】

## 「舞台芸術家のための音楽セミナー」

～音楽をより深く理解し、作品創作にいかすために～

日 程：2013年2月14日（木）～17日（日）

会 場：愛知県芸術劇場大リハーサル

講 師：プログラム構成・講師：港大尋（作曲家）

          ゲストミュージシャン：田中紫織（マリンバ）、アシスタント：仲田優希（ダンサー）

参加者数：          受講：13名、見学：11名          4日間で延べ82名

プログラム：

2/14 19:30～21:30 オリエンテーション：スティックの技法からリズムを考える

2/15 19:00～21:30 メロディの作りかた：発声練習からリフレインの作曲まで

2/16 10:00～17:30 パフォーマーは音楽とどう関わるべきか①

2/17 10:00～17:30 パフォーマーは音楽とどう関わるべきか②

ダンスや演劇といった複合的なパフォーマンス作品の創作には「音楽」が欠かせないが、舞台芸術関係者が音楽について学ぶ機会は大変少なく、独自に試行錯誤を繰り返しながらも、音楽の成り立ちを理解せずに創作された舞台作品には違和感を持つことも多い。そこで、「舞台芸術家のための音楽」に取り組む合宿形式のセミナーを開催した。

音楽史や音楽理論（リズム・形式・和声等）といったレクチャーから、発声や打楽器の演奏といった実践的なワークショップまで、舞台作品を創造するために知っておきたい「音楽」について集中的に学んだ。

東海圏を中心に東京や関西など全国から集まった受講者は、舞台における音楽について日頃から高い問題意識を持ったユニークな方ばかり。リズムにおける呼吸やアクセントの取り方などを体感してもらうためにスティック技法を学んだ後、後半では日本語とリズムを考えるべく、小泉文夫の「日本伝統音楽の研究」を参照しながら、わらべ歌などを唄ったりと、理論と実演を行き来しながらの講座となった。セミナーは終始和気あいあい、参加者同士でのコラボレーションも始まりそうな予感も感じられた。